

事務事業実績測定調査

事務事業名称	育児支援家事援助事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	子ども未来部			課	子ども支援課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち								
	実行計画名		15-1.子育て支援の充実								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2009(H21)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	児童福祉法第21条の10の2				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	3歳未満の乳幼児がおり、掃除、調理などの家事援助や沐浴補助、おむつ交換などの育児援助支援が必要な家庭。
	サブターゲット	支援が必要な家庭の3歳未満の乳児。
	ターゲットが抱える課題	保護者の養育の孤立化などにより、育児支援が必要であるにもかかわらず、自ら支援を求めることが難しい家庭への支援。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	良好な親子関係を育み、安定した乳幼児の養育ができる。
---------------------------	----------------------------

事業概要	3歳未満の乳児がいる支援が必要な家庭に対し、掃除、調理などの家事援助や沐浴補助、おむつ交換などの育児援助を行うとともに、子育て情報の提供を行う。
------	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		支援計画どおり支援を行うことにより、良好な親子関係を育み、安定した乳幼児の養育が出来る。	対象の家庭について、育児援助や子育て情報の提供等、適切な支援となる訪問を行う。	3歳未満の乳児がいる支援が必要な家庭を決定する。
指標設定		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
指標説明		支援対象全世帯における訪問割合 【算出式:延べ訪問回数/延べ訪問計画回数×100】	支援対象全世帯に対する総訪問回数	支援が必要な世帯数
指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
指標数値	単位	%	回	世帯
	目標(見込み)	R2: 100, R3: 100, R4: 100, R5: 100	R2: 180, R3: 180, R4: 180, R5: 180	R2: 18, R3: 18, R4: 18, R5: 18
	実績	100, 100, ,	58, 47, ,	8, 7, ,
達成度		100%	26%	39%
分析		想定どおりであった。	支援を必要とする対象世帯が少なかったため、件数は見込みより少なかった。	支援を必要とする対象世帯が少なかったため、件数は見込みより少なかった。

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	1,312	3,678	2,877		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	1,312	3,678	2,877		
	物件費計	225	320	254	990	26%
歳出計		1,537	3,998	3,131		
歳入	国庫支出金	75	0	85	85	
	府支出金	75	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	150	0	85	85	
一般財源		1,387	320	169	905	

5. 総括的分析

総括的分析	母子保健担当や他機関と連携し、支援を必要とする家庭に対し、早期に育児援助や子育て情報の提供等を行い、適切な支援につなげることができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	対象の家庭について、訪問等により、育児援助や子育て情報の提供等を行い、適切な支援を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	子育て短期支援事業													
測定年度	2021 (R3) 年度				部	子ども未来部				課	子ども支援課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標				3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標				15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名				15-2.保育環境等の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス			特性	選択的的事业			区分	一般事務事業			
事業期間	1996 (H8) 年度				年度	~			年度まで			
根拠法令等	児童福祉法第34条の9											
関係補助金名称									サンセット			
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット			(ショートステイ) 病気、出産、出張、公的行事への参加のため、養育が困難な保護者。(トワイライトステイ) 恒常的に夜間や休日の仕事に従事するため、その間の家庭での養育が困難な保護者。								
	サブターゲット			(ショートステイ) 病気、出産、出張、公的行事への参加のため、保護者による養育が困難な子ども。(トワイライトステイ) 恒常的に夜間や休日の仕事に従事するため、その間の家庭での保護者による養育が困難な子ども。								
	ターゲットが抱える課題			保護者の疾病や仕事などのため、一時的に家庭での子どもの養育ができない。								
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	一時的に児童を保護・養育を行うことにより、保護者が安心して社会活動を行えるようになる。											
事業概要	保護者の疾病等により家庭における養育が一時的に困難になった場合、枚方市が委託契約している8か所の施設において、保護者の申し出により、一定期間預かっている。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		一時的に児童を保護・養育を行うことにより、保護者が安心して社会活動を行えるようになる。				(ショートステイ) 枚方市が委託契約している10か所の施設において、一定期間のショートステイの養育を適切に実施する。				(ショートステイ) 保護者の疾病等により、施設に預かってほしいという保護者のショートステイの申し出を適切に受理する。			
指標設定	指標説明	保護者がショートステイ・トワイライトステイの利用申し込みをし、利用できた割合 【算出式: 利用した延べ日数 / 申し出延べ日数 × 100】				年間にショートステイを利用した延べ日数				保護者のショートステイの申し出利用延べ件数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	540	540	540	540	540	540	540	540
	実績	100	100			634	775			634	775		
	達成度	100%				144%				144%			
	分析	想定どおりであった。				コロナによる保育園の休園等が影響し、利用者が増加した。				コロナによる保育園の休園等が影響し、利用者が増加した。			
ロジックモデル②		一時的に児童を保護・養育を行うことにより、保護者が安心して社会活動を行えるようになる。				(トワイライトステイ) 枚方市が委託契約している10か所の施設において、一定期間のトワイライトステイの養育を適切に実施する。				(トワイライトステイ) 保護者の疾病等により、施設に預かってほしいという保護者のトワイライトステイの申し出を適切に受理する。			
指標設定②	指標説明	保護者がショートステイ・トワイライトステイの利用申し込みをし、利用できた割合 【算出式: 利用した延べ日数 / 申し出のべ日数 × 100】				年間にトワイライトステイを利用した延べ日数				保護者のトワイライトステイの申し出利用延べ件数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	40	40	40	40	40	40	40	40
	実績	100	100			15	5			15	5		
	達成度	100%				13%				13%			
	分析	想定どおりであった。				ショートステイの利用が多く、想定よりも件数が少なくなった。				ショートステイの利用が多く、想定よりも件数が少なくなった。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,013	0	10,214		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,013	0	10,214		
	物件費計	5,430	6,193	7,589	8,906	85%
	歳出計	11,443	6,193	17,803		
歳入	国庫支出金	859	0	1,457	1,452	
	府支出金	859	0	1,457	1,688	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	1,718	0	2,914	3,140	
	一般財源	9,725	6,193	4,675	5,766	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成について、ショートステイの利用が大幅に増加した。引き続き、一時的に児童を保護・養育を行うことにより、保護者が安心して社会活動を行えるよう事業を実施する。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、必要としている対象者に適切に情報が周知されるような広報を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	児童虐待防止ネットワーク事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	子ども未来部				課	子ども支援課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標			3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標			15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1998(H10)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	児童福祉法25条の2				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	保護者の看護が不十分であると認められる子どもや保護者の養育を支援することが特に必要と認められる子ども等
	サブターゲット	庁内外の福祉・医療・教育等を担当する機関
	ターゲットが抱える課題	児童虐待が発生した、あるいは発生しうる状況において、関係機関による虐待の予防・防止および早期発見が難しい。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	児童虐待に対し、関係機関の連携や研修会等の啓発活動を通じて児童虐待への理解と意識の浸透を図り、結果として発生予防、早期発見、早期対応が行われている状態。
---------------------------	--

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待の防止のための関係機関との連携 児童虐待問題連絡会議代表者会議 2回 児童虐待問題連絡会議実務者会議 12回 児童虐待問題連絡会議拡大実務者会議 6回 ネットワークで見守る全ケースの援助方針確認会議 3回 関係機関を対象とした児童虐待問題研修会 2回 市民を対象とした子育て支援研修会 1回 虐待対応業務専門研修 9回 枚方市児童虐待防止マニュアル改訂版を用いた関係機関向け研修内容の立案
------	--

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		児童虐待への理解と意識の浸透した結果として発生予防、早期発見、早期対応が行われている。				各種会議や啓発活動を通じて、関係機関等が児童虐待に対する理解と意識が浸透する。				児童虐待防止のための各種会議や啓発活動等を実施。			
指標設定	指標説明	虐待対応相談延件数				児童虐待防止のための各種会議や啓発活動等に参加した延べ人数。				児童虐待防止のための各種会議や啓発活動等を実施した回数。			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	27,000	27,000	27,000	27,000	1,000	1,000	1,000	1,000	35	35	35	35
	実績	29,911	33,599			380	832			35	27		
	達成度	124%				83%				77%			
分析	新規相談等が増加し、想定よりも件数が多くなった。				新型コロナの影響により、研修等開催が中止となったが、開催方法を工夫したことで前年度からは増加した。				新型コロナの影響により、書面開催もあり、開催回数が減少した。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	8.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	2.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	28,495	41,698	63,353		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	5,779	9,722	11,686		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	34,274	51,420	75,039		
	物件費計	992	1,687	976	1,158	80%
	歳出計	35,266	53,107	76,015		
歳入	国庫支出金	2,810	646	257	419	
	府支出金	2,679	0	195	319	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	500	0	0	
	歳入計	5,489	1,146	452	738	
	一般財源	29,777	541	524	420	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナの影響により、研修等開催が中止となり、啓発活動等の参加者は減少したが、必要な会議については開催することができた。このような情勢の中でも家庭児童相談延べ件数は増加しており、児童虐待の早期発見、予防、早期対応について取り組むことができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	児童虐待防止のための各種会議や啓発活動等を実施し、発生予防、早期発見、早期対応に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	子ども支援課運営事務													
測定年度	2021(R3)年度				部	子ども未来部				課	子ども支援課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外											
	施策目標		99.施策体系外											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性			庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務		
事業期間	不明			年度	~								年度まで	
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称							サンセット							
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		子ども支援課職員											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が滞りなく円滑に進む													
事業概要	課の運営業務													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標設定	指標説明													
	指標種類		単位		単位		単位		単位		単位		単位	
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績												
	達成度													
	分析													

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費			3,143		
	正職員、再任用、任期付			0		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)			0		
	特別職非常勤			0		
	附属機関委員			0		
	人件費計			3,143		
	物件費計			161	190	85%
	歳出計			3,304		
歳入	国庫支出金			0	0	
	府支出金			0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)			0	0	
	市債			0	0	
	その他			0	0	
	歳入計			0	0	
	一般財源			161	190	

5. 総括的分析

総括的分析	庁内の照会や予算・決算事務、補助金請求等の事務を滞りなく取り組むことができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	さらなる事務の効率化を目指して取り組む。